公共施設における
Auracast™ ブロードキャスト オーディオ
市場規模 調査レポート

Bluetooth®

STRATEGY ANALYTICS
Powered by TechInsights

本レポートについて

公共の場における Auracast™ ブロードキャスト オーディオという、誕生したばかりの市場の規模と姿を探るため、Bluetooth SIG は、Strategy Analytics に調査を依頼しました。

Strategy Analytics はまず、世界中にある施設の数について、各種公共・民間資料から入手できる最良のデータを集めました。次に、市場規模を測る際の参考と、分析結果を深く充実したものとするため、さまざまな施設の所有者や所長等の意思決定者、家電業界のリーダーおよび聴覚補助における代表的技術者を対象に、詳細なインタビューを実施しました。また、多様な視点をそろえるため、医療・聴覚医学の専門家や難聴者のコミュニティにも話を聞き、可能なかぎり複数の独立した情報源に基づき、内容をクロスチェック・照合しました。

こうした対話から得た内容を本レポートではさらに掘り下げ、ブロードキャスト オーディオについて現時点で考えられる選択肢、放送システムでの成功点と問題点、検討中の計画、Auracast™ ブロードキャスト オーディオの未来に関して浸透しつつあるとらえ方などについて、より深く理解するための知見を提供しています。

目次

本レポートについて 2

エグゼクティブサマリー 4

ユースケース 5

公共の施設の種類 6

公共の施設に関する可能性の規模 7

世界の施設数 7

普及を予測する際の主な考慮点 8

施設の種類別に見たユースケースの適切性 8

聴覚補助に関する法規制の地域差 9

結論 10

Cliff Raskind

スマートデバイス＆IoT部門
シニアディレクター

寄稿者

ワイヤレス、モビリティ、IT分野における30年以上の経験を活用し、Strategy Analyticsのクライアントの成功を支援しています。主な担当は、スマートデバイス・IoT市場の変革に関する分析、追跡、予測。

Strategy Analytics, Inc.

企業の計画ライフサイクル全般のコンサルティングを手掛けるグローバルリーダー。幅広い種類の消費者調査・市場調査を統合的かつカスタマイズして提供することにより、複雑なテクノロジー市場での成功をサポート。主に、独自色を放ちつつ正当性を持った戦略の構築支援を得意としている。

www.strategyanalytics.com

エグゼクティブサマリー

Bluetooth® LE Audio の今回のリリースでは、Bluetooth の新機能「Auracast™ ブロードキャスト オーディオ」が新しく導入されました。Auracast™ ブロードキャスト オーディオでは、オーディオの送信機から近くの Bluetooth 受信機へ、台数を制限されることなくブロードキャスト通信が行えるため、空港、博物館、会議場等の公共の場でのオーディオへのアクセシビリティを高め、利用者の満足度向上につなげることができます。

Strategy Analytics が北米、西欧、アジア太平洋の各地域にわたって実施した調査では、ブロードキャストオーディオが利点をもたらす可能性のある公共の場が 6000 万カ所以上特定されました。そのうち 700 万カ所には、配備に適した明確な**適合度**があることがわかっています。適合度の高い場所においては、比較的早期に Auracast™ ブロードキャスト オーディオの採用が進むと予想される一方、適合度が低～中程度の場合は中長期的な配備によるメリットの享受が想定されます。意思決定者は最も適切なユースケースを特定すると同時に、Auracast™ ブロードキャスト オーディオ活用に関する法規制の遵守について把握し、オーディオへのアクセシビリティを利用者に提供することが求められます。

未来は、想定されるユースケースが示すイノベーションや、まだ想像もされていないリスニング体験の向上であふれています。

Auracast™ ブロードキャスト オーディオに関する詳細はこちらからご覧ください。

ユースケース

Auracast™ ブロードキャスト オーディオは、イノベーションを生み出す豊かな土台に例えられます。やがてここから、まだ想像もされていない数々のユースケースが登場するでしょう。

以下に、短期的に実現できるユースケースの中から特に魅力的なものを示します。

- **公共の場における聴覚補助**
  空港、映画館、講堂、会議場、礼拝所等、場内放送システムを使用する施設では、利用者が放送を直接自分の Auracast™ 対応 Bluetooth® イヤホン／補聴器で受信できるようにすることで、放送が聞き取りやすくなります。ここでは Auracast™ ブロードキャスト オーディオが高品質、低コストの次世代聴覚補助システム（ALS）技術として機能し聴覚障害の有無にかかわらず、施設利用者のオーディオ体験を向上させます。
- **各種窓口における聴覚補助**
  銀行、小売店、映画館等、窓口サービスを提供する施設では、利用者に自分の Auracast™ 対応 Bluetooth® 補聴器を使用してもらうことで、セキュリティが確保された 1 対 1 の聴覚補助サポートを提供することができます。
- **無音テレビ**
  空港、室内競技場、ホテル、レストラン、待合室等、無音テレビを設置している施設では、利用者が自分の Auracast™ 対応 Bluetooth® イヤホン／補聴器でテレビの音声を聴けるようにすることで、満足度の高い視聴を可能にします。
- **ツアー用システム**
  博物館、会議場、観光名所等、団体見学ツアーを実施する施設では、ツアー参加者が自分の Auracast™ 対応 Bluetooth® イヤホン／補聴器を使用できるようにすることで、ツアーをさらに楽しんでもらうことができます。
- **多言語対応**
  会議場など多言語の同時通訳サービスを提供する施設や、動画で複数の言語の中から音声を選べる場合、視聴者が希望する音声を、自分の Auracast™ 対応 Bluetooth®イヤホン／補聴器によって受信できるようになります。それにより、さらに親和性の高いオーディオ体験を提供することができます。

公共の場の種類

オーディオの次世代イノベーションであるAuracast™ ブロードキャスト オーディオは、そのユースケースと同様に、活用の場も多彩です。以下に、Auracast™ ブロードキャスト オーディオがもたらす利点により、利用者の体験向上が見込まれる一般的な施設を示します。

- **映画館：**一般向けの娯楽のために映画上映が行われる場所
- **会議場／劇場：**会議、イベント、公演に使用される建物・建物群
- **ジム／フィットネスセンター：**フィットネスマシン、ウェイトマシンその他のトレーニング器具を利用しに行く場所・クラブ
- **病院／診療所／歯科医院：**医療を提供する施設
- **ホテル／レストラン／パブ：**宿泊、食事、娯楽、アルコールを提供する施設
- **美術館／博物館／観光名所：**文化的・歴史的に重要な観光地や訪問地
- **オフィス：**一般的なオフィスとして使用される建物または建物の一部
- **礼拝所：**礼拝が行われる、教会、モスク、寺院、その他の建物
- **小売／サービス店舗：**商品やサービスを買いに行く場所
- **学校／キャンパス：**教育に使用される公立・私立施設
- **スタジアム／アリーナ：**スポーツイベント、コンサートその他の大型イベントに使用される、大空間の周囲に観客席を配置した大型施設
- **交通拠点：**空港、鉄道駅、バスの停留所等、数多くの人々の移動を日々支える交通の中心地

公共の施設に関する可能性の規模

Auracast™ ブロードキャスト オーディオに関する可能性の規模を測る第一歩として、そのユースケース実施の候補地となる世界の施設数を把握する必要があります。北米、西欧、アジア太平洋の 3 つの主要地域を対象に、調査が行われました。

世界の施設数

Strategy Analytics では、Auracast™ ブロードキャスト オーディオの展開によって利点がもたらされる施設は、世界の主要 3 地域で合計 6000 万カ所を超えると推計しています。

6000
万カ所
Auracast™ ブロードキャスト オーディオの展開が利点をもたらすことのできる施設数

候補施設数の合計

2022年現在

	合計	北米	西欧	アジア太平洋
合計	**61,367,297**	**3,089,110**	**6,787,314**	**51,490,873**
映画館	***45,777***	*8,095*	*8,460*	*29,222*
会議場／劇場	***5,701***	*2,138*	*2,253*	*1,309*
ジム／フィットネスセンター	***380,720***	*46,663*	*17,949*	*316,108*
病院／診療所／歯科医院	***3,141,463***	*475,653*	*200,932*	*2,464,878*
ホテル／レストラン／パブ	***9,179,103***	*845,734*	*983,779*	*7,349,590*
博物館／観光名所	***73,685***	*35,194*	*25,231*	*13,261*
オフィス	***297,190***	*60,483*	*77,757*	*158,950*
礼拝所	***1,057,515***	*323,433*	*291,086*	*442,997*
小売／サービス店舗	***45,823,001***	*1,132,801*	*4,996,881*	*39,693,319*
学校／キャンパス	***1,321,545***	*149,154*	*173,901*	*998,491*
スタジアム／アリーナ	***2,935***	*957*	*956*	*1,022*
交通ハブ／拠点	***38,660***	*8,804*	*8,129*	*21,727*

表 1：2022 年時点での候補施設数の合計 出典：Strategy Analytics、2021 年

普及を予測する際の主な考慮点

Auracast™ ブロードキャスト オーディオの普及を予測する際には、市場の状況に鑑みて、考慮しなければならないポイントがいくつかあります。異なる地域、ユースケース、施設の種類における普及度をそれぞれ正確に把握するには、どれだけ配備態勢が整っているのか、聴覚補助のユースケースにどのような法的要件が適用されるのか、施設の種類によってどのようなユースケースが適切なのかを検討する必要があります[1]。

施設の種類別に見たユースケースの適性比較

Auracast™ ブロードキャスト オーディオをインフラとして配備する可能性のある施設は膨大な数に上ります。適切な候補としては、交通拠点、映画館、会議場、劇場、ジム、フィットネスセンター、病院、診療所、歯科医院、ホテル、レストラン、パブ、礼拝所、博物館、観光名所、オフィス、小売／サービス店舗、学校、スタジアム等が挙げられます。

Auracast™ ブロードキャスト オーディオのユースケースの**適合度**（表 2）は、さまざまな要因によって大きく変わることが考えられます。たとえば、導入の意思、影響を受ける利用者の数、設置の容易さ、場内アナウンスを通して提供される音声情報の量と重要性、情報の緊急性、対象者等の要因が考えられます。

Auracast™ ブロードキャスト オーディオのユースケースの適合度

施設の種類別

● 高　◑ 中　○ 低

	映画館	会議場／劇場	ジム／フィットネスセンター	病院／診療所／歯科医院	ホテル／レストラン／パブ	博物館／観光名所	オフィス	礼拝所	小売／サービス店舗	学校／キャンパス	スタジアム／アリーナ	交通ハブ／拠点
公共の場における聴覚補助	●	●	○	●	○	●	◑	●	◑	●	◑	●
各種窓口における聴覚補助	●	●	◑	●	●	●	○	○	●	◑	●	●
無音テレビ	○	●	●	●	●	◑	◑	○	◑	◑	◑	●
ツアー用システム	○	◑	◑	○	○	●	○	●	○	●	○	○
多言語対応	●	●	○	◑	●	●	◑	●	○	◑	◑	●

表 2：Auracast™ ブロードキャスト オーディオのユースケースの適合度／施設の種類別 出典：Strategy Analytics、2021 年

[1] ここでは規制に関する内容は取り上げていません。各地域における聴覚補助関連の規制とコンプライアンスに関する要求事項については、各地当局および支援団体にお問い合わせください。

また施設によっては、Auracast™ ブロードキャスト オーディオの複数のユースケースを前提として配備できる場合があることも注目すべき点です。たとえば公共の場の無音テレビで、聴覚補助に加えて音声解説[2]や別言語の音声も提供する場合や、映画館で多言語にも対応する場合があります。これらは、Auracast™ ブロードキャスト オーディオが日常生活に組み込まれることで、公共の場における個人の音声利用を拡充できる、ほんの数例にすぎません。

聴覚補助に関する法規制の地域差

Auracast™ ブロードキャスト オーディオを聴覚補助に採用する際の主な確認項目として、各地域の法規制、コンプライアンス、法規制執行のレベルがあります。かつ規制ガイドラインの内容や、その適用範囲、執行レベルも地域によって大きく異なります。

欧州と英国では、米国に比べると規則遵守率が高くなっています。欧州では、現行の技術（ループシステム、FM、IR）についてより高いコンプライアンス水準が見られます。こうした執行とコンプライアンスのレベルは、Auracast™ ブロードキャスト オーディオに対しても準用されると考えられます。

米国では、規制の遵守とオーディオ・アクセシビリティに対する、消費者からの支持の高まりが見られますが、短期的には規制ガイドラインやコンプライアンスのレベルはより低い水準に留まると見られます。アジア太平洋は、この領域については最も規制要件が少ないと考えられています。米国とアジア太平洋の大多数の施設が、聴覚補助に関する規制ガイドラインには従っていません。Auracast™ ブロードキャスト オーディオ等の新技術の登場が整備に対する推進力となることが考えられます。規制の遵守に関して取り締まりや強化がされていないという事実は、別の面においては、Auracast™ ブロードキャスト オーディオに関するコンプライアンスを確保するための導入・維持コストが劇的に低くなることが、その他のユースケースの利点と相まって、大きな変化の推進力となる可能性があります。

要約すると、聴覚補助のユースケースに関する規制ガイドライン、規制執行、支援活動によって特定の施設や地域においては、他と比較してこの技術の採用が早く進むことが考えられます。

[2] 音声解説は、視覚障がい者の方々に対し、音声のナレーションを通して視覚体験にアクセスできるようにするサービスです。

結論

150 年前には想像もできなかった形で、オーディオはタイムシフト、共有、成形、翻訳、代替、拡張、フィルタリングできるようになりましたが、未来にはさらに難聴者支援の強化、騒音環境の中での音声拡大、プライバシーを確保した／カスタマイズされたリスニング体験等、素晴らしい可能性が広がっています。Auracast™ ブロードキャスト オーディオはこの可能性の実現と、いまだ想像されていない利点を消費者にもたらすオーディオイノベーションとを可能にするポテンシャルを持つ、新しい技術です。

施設への導入に関しては、TAM（獲得可能な最大市場規模）は数々の候補カテゴリーの中で対象となる施設の数に左右されることになります。エコシステムの発展初期においては、どのような成長軌道をたどるのかを予測することは難しいですが、現在、Auracast™ ブロードキャスト オーディオ導入を検討する公共の場の第一陣にとっては、もう実現可能な段階に入っています。

市場に新しく登場したまったく新しい機能やソリューションがどれもそうであるように、この時点で普及率やトレンドについて確固たる予測や具体的な情報を提供することは困難です。しかしながら、Strategy Analytics では、コスト削減という Bluetooth® 規格の典型的な特徴によって、活気あふれるエコシステムが生まれると考えています。モジュールや最終製品のベンダーが使用できる集積回路、初期のテクノロジーソフトウェアスタックも利用できるようになりつつあります。またエンドユーザーと施設の両者が抱える課題への対応という観点から、長期的な見通しは明るいと言えます。デバイス側の準備が整っていること、そして極めて重要なポイントとして、導入先の候補となる施設の数が莫大であることから、今後の力強い成長が高い確度で見込まれるからです。

Bluetooth 市場調査コミュニティ

Bluetooth 市場調査コミュニティに参加すると、最新の Bluetooth® 技術のトレンドと予測を明らかに見て取れる市場データをいち早く入手することができます。また、自分と自社のビジネスにとって最も価値のある調査結果を受け取るために、どのようなデータが収集、共有されるのかについて提案する機会もございます。
こちらからご参加ください。

bluetooth.com/ja-jp/market-research-community/

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Auracast™ のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。その他のサードパーティーのブランドおよび名称は、各社の所有物です。